

# 2014年3月期 第2四半期決算説明会



2013年11月25日

株式  
会社 **朝日ラバー**

# サマリー

---

- 第2四半期は、自動車向けゴム製品とスポーツ用ゴム製品、医療用ゴム製品の受注が増加し、増収増益となった。
- 今期の受注状況は引き続き堅調の見通し。
- 下期は増産対応で積極的に設備投資を実施。
- 来年4月からスタートする中期経営計画を策定中。

# 2014年3月期第2四半期決算説明資料 目次

## サマリー

### I. 2014年3月期第2四半期決算実績

1. 連結第2四半期決算実績（前期比較）	3
2. 連結第2四半期決算実績（四半期会計期間比較）	4
3. 連結セグメント別実績（前期比較）	5～6
4. 主要製品実績－ASA COLOR LED、スポーツ用ゴム製品、医療用ゴム製品	7～9
5. 単体損益実績（前期比較）	10
6. 連結子会社の損益実績（前期比較）	11
7. 連結貸借対照表の状況	12

### II. 2014年3月期決算見通し

1. 連結損益見通し（前期比較、セグメント別）	13
2. 連結損益見通し（前回予測比較）	14
3. 連結設備投資計画	15
4. 配当実績と計画	16

### III. 主要製品の展開

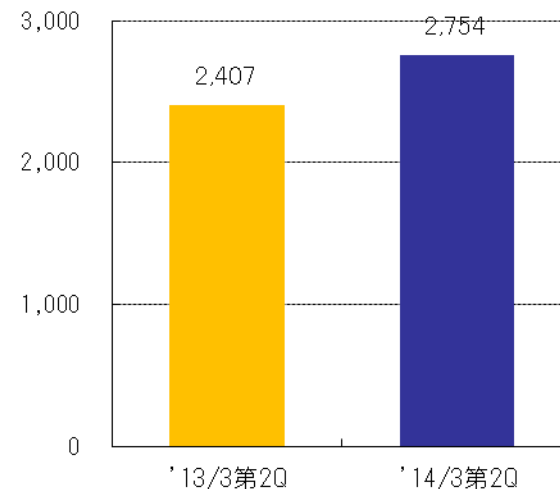
1. ASA COLOR LEDの展開	17
2. マイクロ流体チップの展開	18

# I-1. 連結決算実績

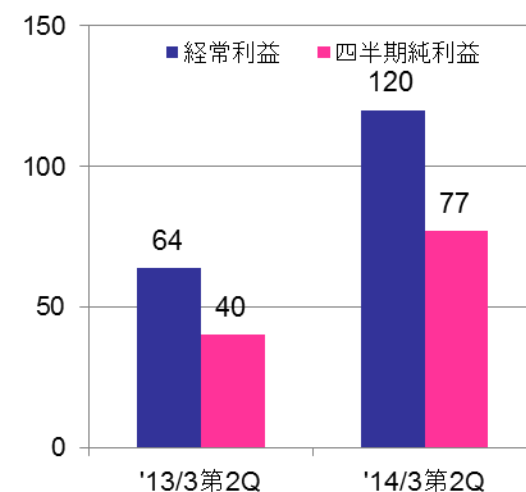
(単位:百万円、%)

	2013年3月期 第2四半期		2014年3月期 第2四半期		
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期 増減率
売上高	2,407	100.0	2,754	100.0	14.4
売上総利益	641	26.6	715	26.0	11.6
営業利益	88	3.7	119	4.3	35.0
経常利益	64	2.7	120	4.4	87.0
四半期純利益	40	1.7	77	2.8	91.7

(単位:百万円) 連結売上高実績



(単位:百万円) 連結利益実績



設備投資額 100百万円  
減価償却費 184百万円

# I - 2. 連結第2四半期決算実績(会計期間)

(単位:百万円、%)

	第1四半期会計期間(4-6月)				第2四半期会計期間(7-9月)				
	2013年 3月期	2014年3月期			2013年 3月期	2014年3月期			
	実績	実績	構成比	前年同期 増減率	実績	実績	構成比	前年同期 増減率	当第1四半期 増減率
売上高	1,218	1,381	100.0	13.4	1,188	1,372	100.0	15.5	▲0.6
売上総利益	322	367	26.6	14.2	319	347	25.3	8.9	▲5.5
営業利益	41	65	4.8	58.6	46	53	3.9	14.2	▲18.3
経常利益	24	74	5.4	210.1	40	45	3.3	13.2	▲39.1
前年同期比較	<p>自動車用ゴム製品の受注が好調に推移。 前年同期は顧客の在庫調整で減少していたスポーツ用ゴム製品と医療用ゴム製品の受注が回復。 RFID向けゴム製品の受注が好調。</p>								
	<p>医療用ゴム製品の新規製品立上げに伴う費用増。 マイクロ流体チップ開発の量産準備が第2四半期からスタートのため費用増。</p>								

# I-3. 連結セグメント別実績

(単位:百万円、%)

売上高	2013年3月期 第2四半期		2014年3月期 第2四半期		
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期 増減率
工業用ゴム事業	1,873	77.9	2,191	79.6	17.0
医療・衛生用ゴム事業	533	22.1	562	20.4	5.5
<b>売上高合計</b>	<b>2,407</b>	<b>100.0</b>	<b>2,754</b>	<b>100.0</b>	<b>14.4</b>

(単位:百万円、%)

セグメント利益	2013年3月期 第2四半期		2014年3月期 第2四半期		
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期 増減率
工業用ゴム事業	143	69.3	220	93.9	53.5
医療・衛生用ゴム事業	63	30.7	14	6.1	▲77.4
<b>セグメント利益合計</b>	<b>207</b>	<b>100.0</b>	<b>235</b>	<b>100.0</b>	<b>13.2</b>

- 工業用ゴム事業の自動車向けゴム製品、スポーツ用ゴム製品、RFID向けゴム製品の受注が増加し、利益に貢献する一方、医療用ゴム製品は受注は好調だが、新規量産品の立ち上げ準備で費用が増加。

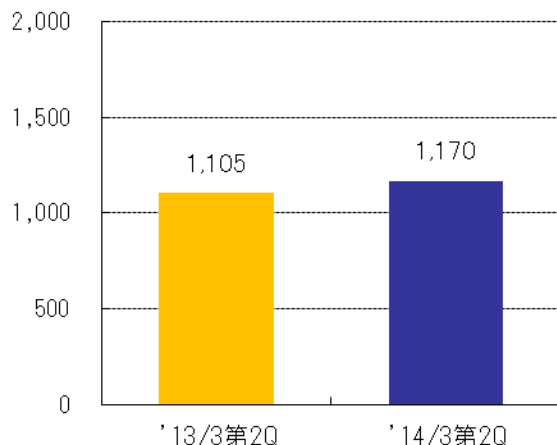
# I - 3. 連結セグメント別実績 - 中期事業分野

(単位:百万円、%)

売上高	2013年3月期 第2四半期		2014年3月期 第2四半期		
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期 増減率
照明関連事業	1,105	45.9	1,170	42.5	5.9
医療関連事業	511	21.2	539	19.6	5.6
機能製品関連事業	791	32.9	1,045	37.9	32.0
<b>売上高合計</b>	<b>2,407</b>	<b>100.0</b>	<b>2,754</b>	<b>100.0</b>	<b>14.4</b>

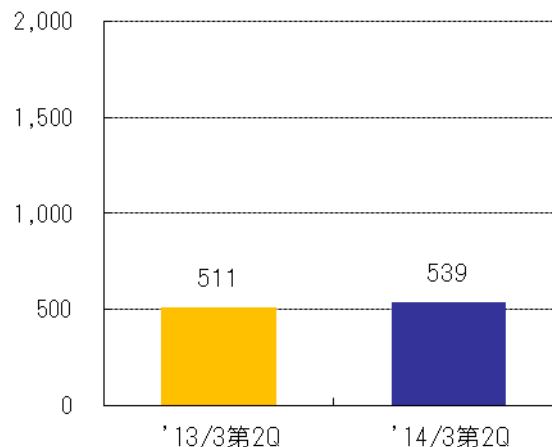
(単位:百万円)

照明関連事業



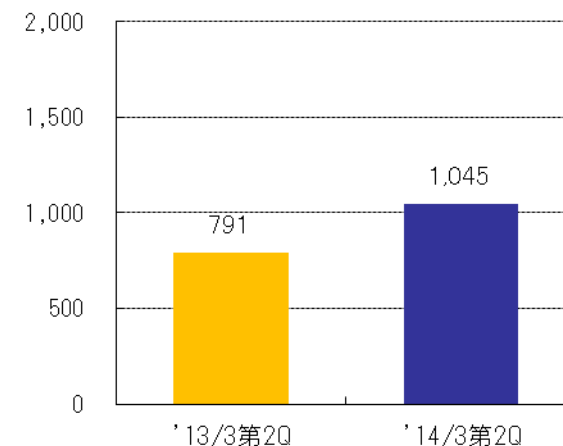
(単位:百万円)

医療関連事業



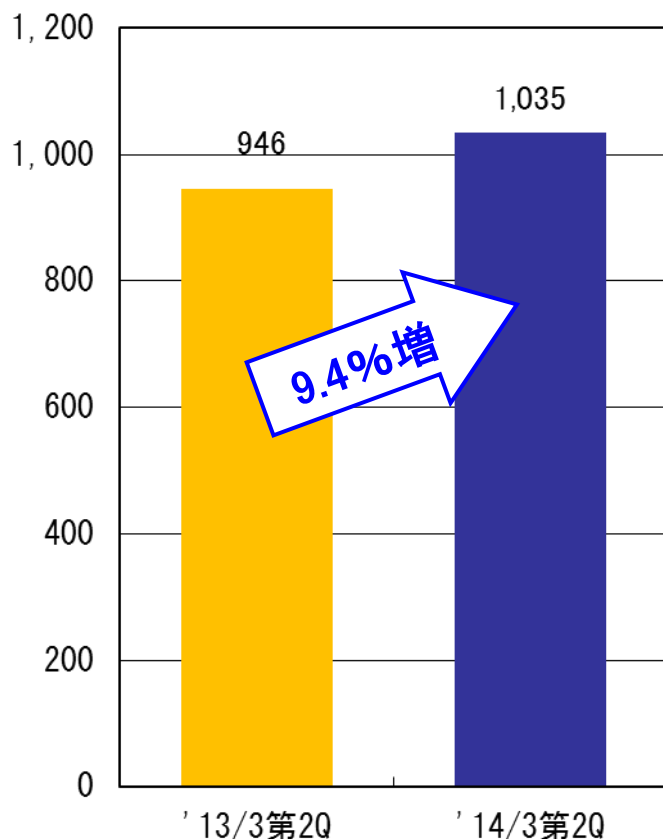
(単位:百万円)

機能製品関連事業



# I-4. 主要製品実績—ASA COLOR LED

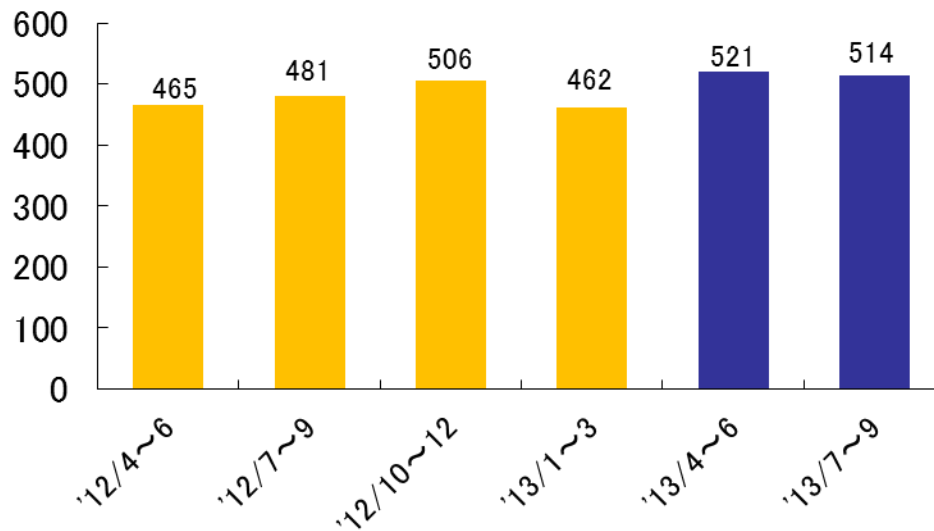
(単位:百万円) 連結売上高推移



## ASA COLOR LED

蛍光体を配合したシリコンゴム製のキャップを青色LEDに被せることで10,000色以上の光のバリエーションを提供できる。自動車内装照明や特殊照明向け。

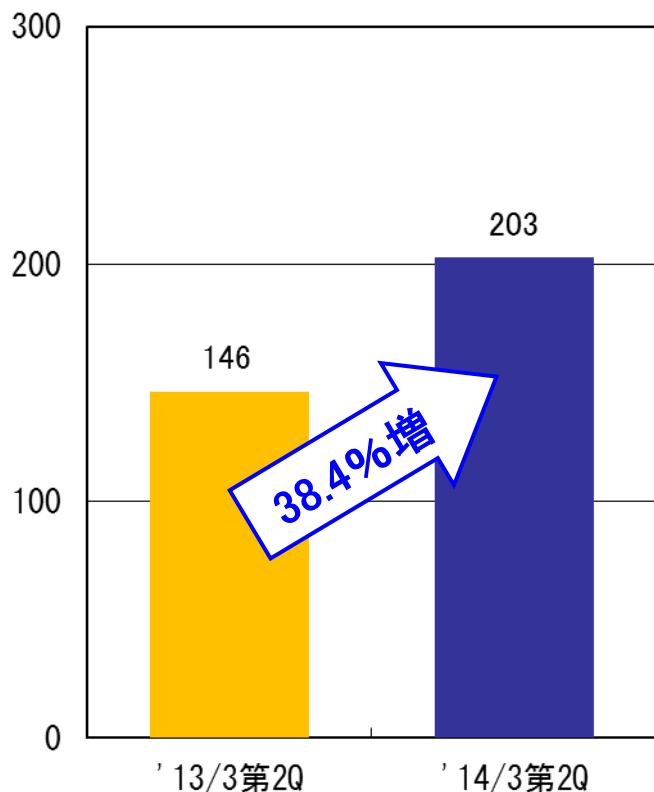
(単位:百万円) 四半期会計期間の売上高推移



●円安による国内自動車メーカーの販売・生産増により、自動車内装照明向けの受注が好調に推移。

# I-4. 主要製品実績—スポーツ用ゴム製品

(単位:百万円) 連結売上高推移

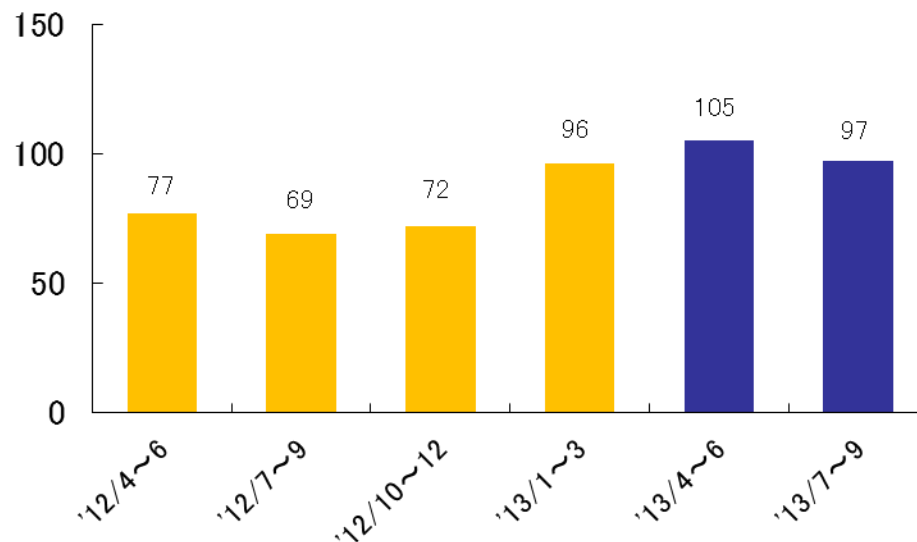


## 卓球ラケット用ラバー

反発弾性、高摩擦抵抗などを追及した高品質の卓球ラケット用ラバー。



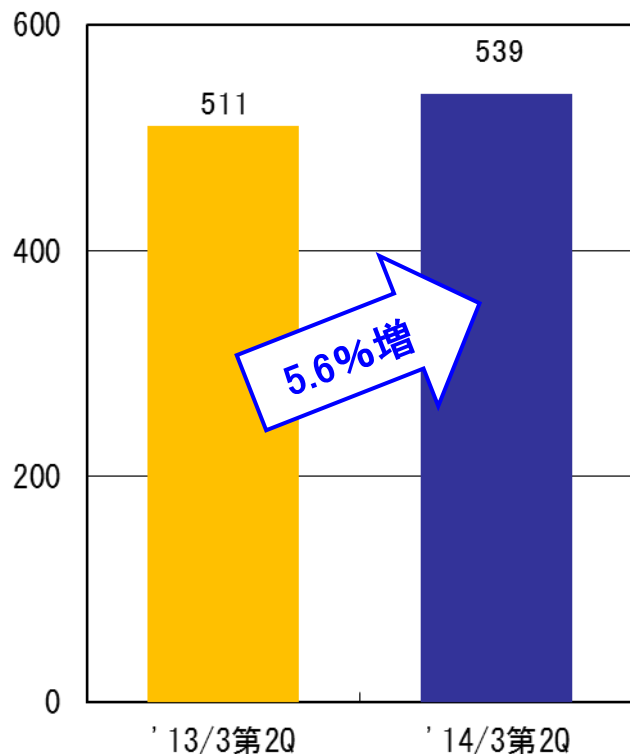
(単位:百万円) 四半期会計期間の売上高推移



● 昨年末まで続いた顧客の大幅な在庫調整が終了し、受注が回復。

# I-4. 主要製品実績－医療用ゴム製品

(単位:百万円) 連結売上高推移

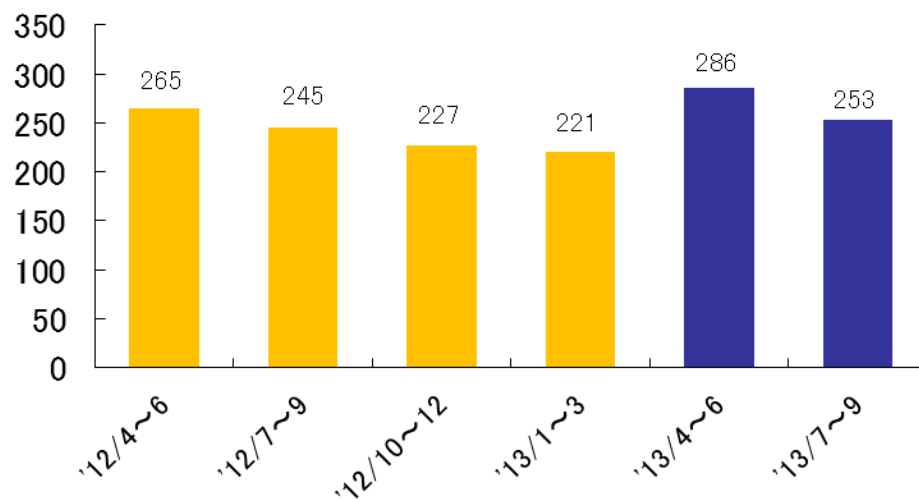


## ディスポーザブル用ゴム製品

点滴輸液バッグ用ゴム栓や真空採血管用ゴム栓、プレフィルドシリンジ(薬液充填済み注射器)向けガスケットなど、使い捨てのディスポーザブル用ゴム製品。

## 四半期会計期間の売上高推移

(単位:百万円)



- 前期の顧客の在庫調整が終了し、受注が回復。採血用・薬液混注用ゴム栓の受注が好調。

# I - 5. 単体損益実績

(単位:百万円、%)

	2013年3月期 第2四半期		2014年3月期 第2四半期		
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期 増減率
売上高	2,347	100.0	2,647	100.0	12.8
売上総利益	572	24.4	612	23.1	6.9
営業利益	63	2.7	68	2.6	9.2
経常利益	44	1.9	85	3.2	94.5
四半期純利益	22	1.0	55	2.1	144.3

- 売上高は、自動車向けゴム製品、スポーツ用ゴム製品、医療用ゴム製品の受注が好調で前年同期比二ケタ増。
- 為替差益と補助金収入により経常利益が倍増。

# I - 6. 連結子会社の損益実績

(単位：千円)

	株式会社朝日FR研究所		ARI INTERNATIONAL Corp.	
設立	1987年4月		1999年6月	
資本金	10,000,000円		200,000米ドル	
業務内容	ゴム・プラスチック等に関する研究		工業用ゴム製品の販売	
研究収入／売上高	47,971	前年同期 増減率	81,387	前年同期 増減率
		▲0.1%		▲7.3%
経常利益	7,163	30.1%	5,573	143.6%
四半期純利益	3,680	27.1%	3,828	121.3%

(単位：千円)

円換算レート：1米ドル95.89円

	朝日橡膠(香港)有限公司		東莞朝日精密橡膠制品有限公司		朝日科技(上海)有限公司	
設立	2005年11月		2010年7月		2012年1月	
資本金	19,700,000香港ドル		17,551,530人民元		50,000,000円	
業務内容	工業用ゴム製品の販売		工業用ゴム製品の製造・販売		工業用ゴム製品の開発、設計、販売	
売上高	177,412	前年同期 増減率	183,930	前年同期 増減率	2,558	前年同期 増減率
		48.5%		36.2%		-
経常利益	12,536	71.1%	23,368	286.1%	▲12,683	-
四半期純利益	12,536	71.1%	14,242	123.1%	▲12,683	-

円換算レート：1香港ドル12.36円

円換算レート：1人民元15.53円

円換算レート：1人民元15.53円

# I - 7. 連結貸借対照表の状況

(単位:百万円)

	2013年 3月末残高	2013年 9月末残高	差	主な変動科目
流動資産	3,582	4,026	+444	売上増により受取手形及び売掛金が 494百万円増加
固定資産	3,928	3,892	▲35	
繰延資産	6	3	▲3	
資産合計	7,517	7,923	+405	
流動負債	2,180	2,341	+161	支払手形及び買掛金が201百万円増加
固定負債	2,371	2,481	+110	
負債合計	4,551	4,823	+271	
純資産合計	2,965	3,099	+133	
負債純資産合計	7,517	7,923	+405	

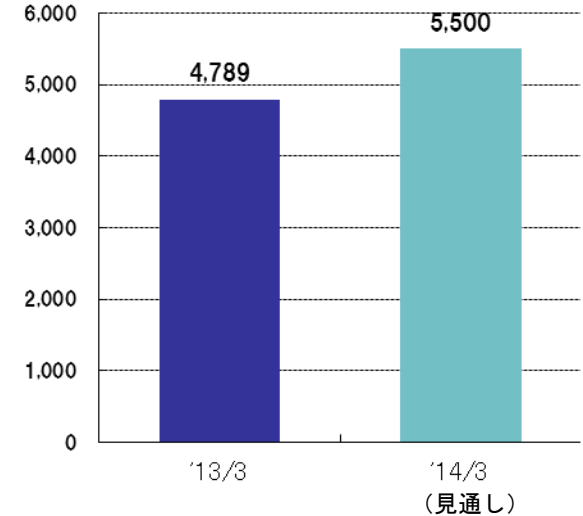
# II-1. 2014年3月期連結決算見通し(前期比)

(単位:百万円、%)

	2013年3月期		2014年3月期見通し		
	実績	構成比	見通し	構成比	前期増減率
売上高	4,789	100.0	5,500	100.0	14.8
売上総利益	1,275	26.6	1,390	25.3	9.0
営業利益	135	2.8	220	4.0	62.4
経常利益	139	2.9	210	3.8	50.5
当期純利益	76	1.6	120	2.2	56.3

(単位:百万円)

連結売上高見通し

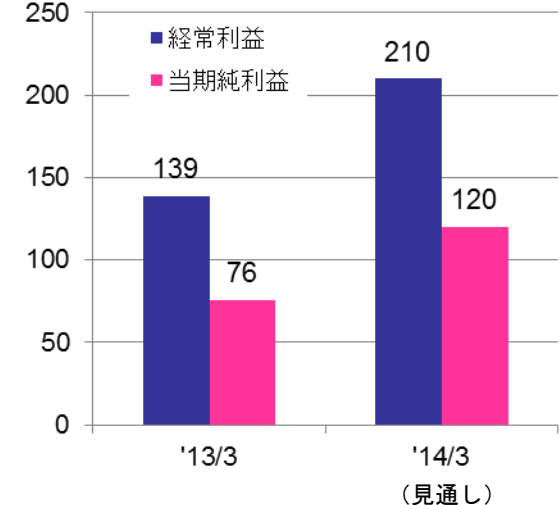


(単位:百万円、%)

セグメント別	2013年3月期		2014年3月期見通し		
	実績	構成比	見通し	構成比	前期増減率
工業用ゴム事業	3,794	79.2	4,355	79.2	14.8
医療・衛生用ゴム事業	995	20.8	1,145	20.8	15.0
売上高	4,789	100.0	5,500	100.0	14.8

(単位:百万円)

連結利益見通し



## Ⅱ－2. 2014年3月期連結決算見通し(前回予測比)

(単位:百万円、%)

	8/9時点		11/13修正		
	見通し	構成比	見通し	構成比	8/9時比較 増減率
売上高	5,300	100.0	5,500	100.0	3.8
売上総利益	1,430	27.0	1,390	25.3	▲2.8
営業利益	250	4.7	220	4.0	▲12.0
経常利益	195	3.7	210	3.8	7.7
当期純利益	110	2.1	120	2.2	9.1

### ●上方修正要因

- ①引き続き、自動車、スポーツ用、医療用のゴム製品の受注が好調で予測を上回る見込み。
- ②新規事業への費用増により、売上総利益と営業利益は予測を下回る見込み。
- ③補助金収入の計上と調達金利が低利で推移していることから経常利益は予測を上回る見込み。

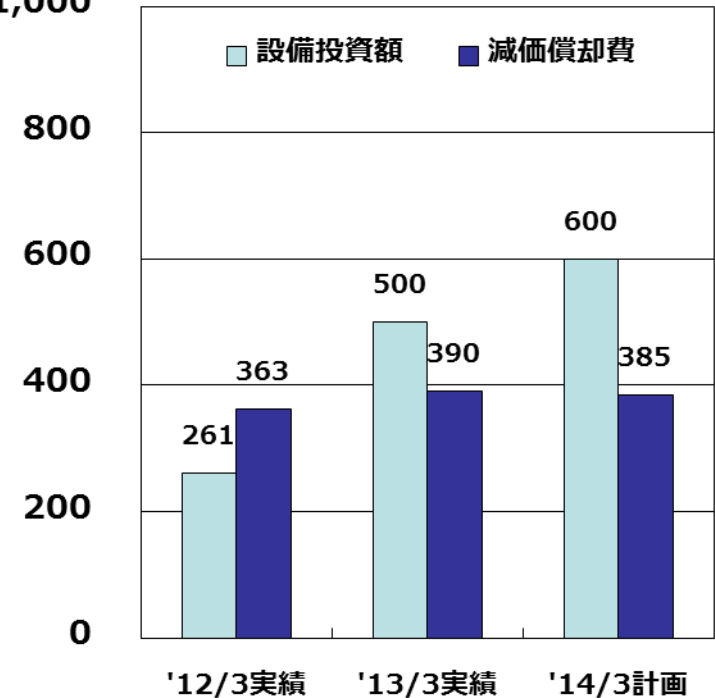
# Ⅱ－3. 2014年3月期連結設備投資計画

## 設備投資金額 約600百万円

## 減価償却費 385百万円

(単位:百万円)  
1,000

事業分野別設備投資内訳(百万円)		
	第2四半期 実績	通期 計画
照明関連事業	2	100
医療関連事業	19	160
機能製品関連 事業	78	340



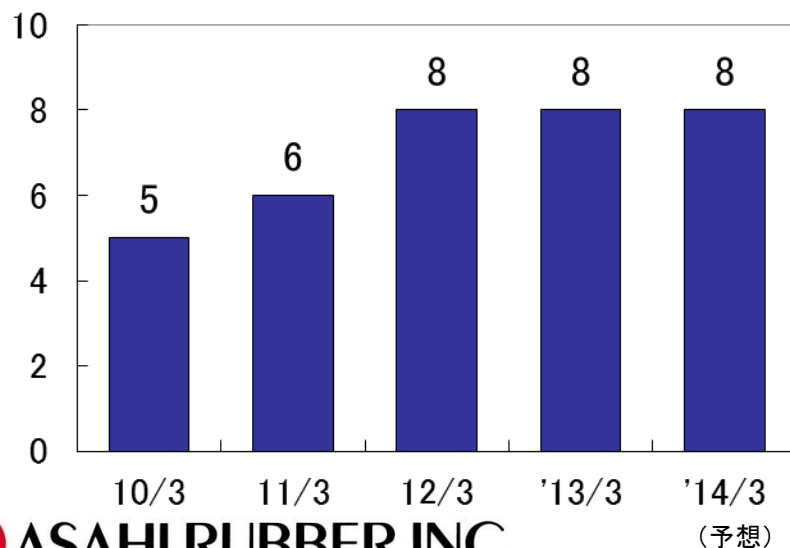
- 照明関連事業は、ASA COLOR LEDの増産ラインを導入。
- 機能製品関連事業は、RFIDタグ用ゴム製品の増産ラインとマイクロ流体チップの量産ラインを導入。

## Ⅱ－4. 2013年3月期配当実績と計画

	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期
中間配当	3円	3円	3円(予定)
期末配当	5円	5円	5円(予想)
年間	8円	8円	8円(予想)

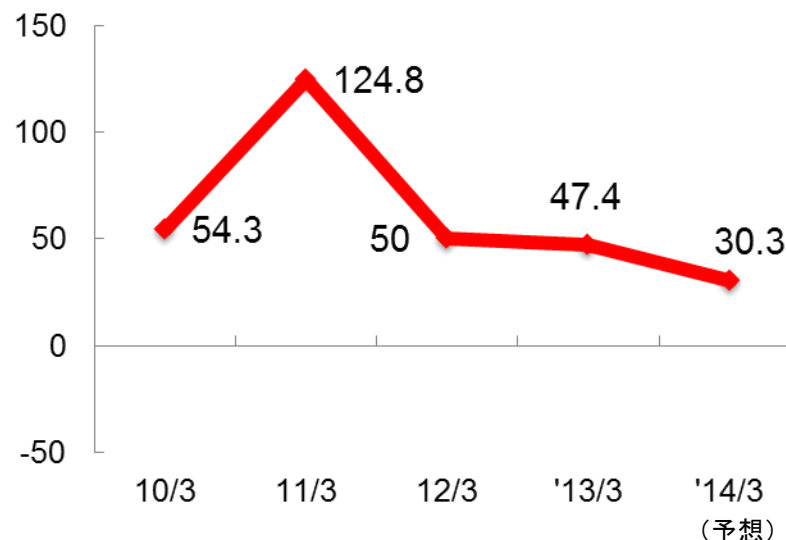
(単位:円)

一株当たり配当金推移



(単位:%)

連結配当性向推移



# Ⅲ－1. ASA COLOR LEDの展開

## ASA COLOR LED

青色LEDに蛍光体を配合したシリコン製ゴムキャップを被せることで10,000色以上の色と光を実現することができます。  
主に自動車の内装照明の光源として採用されています。

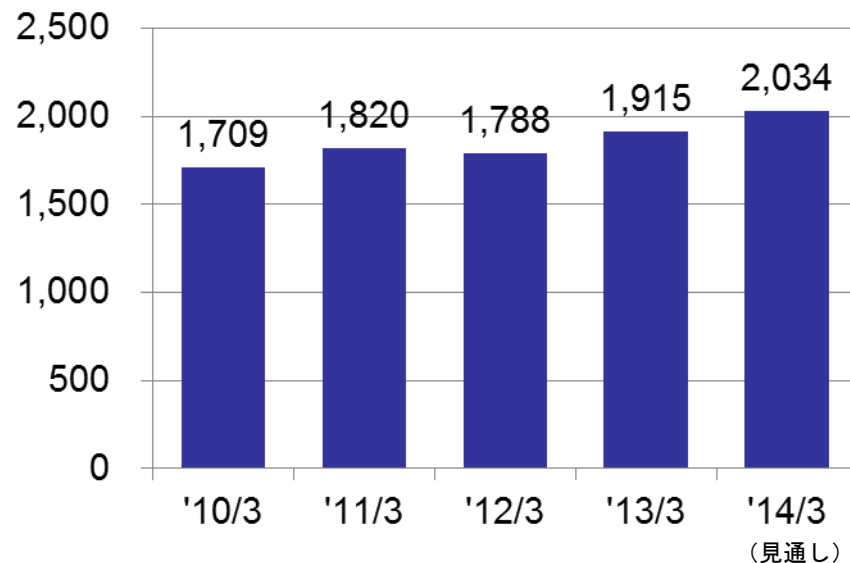


## 受注拡大の要因

- ①小型・軽自動車向けの採用が増加
- ②LEDの使用個数を減らす提案、組立工数を減らす提案でお客様のトータルコストを削減できるメリットをPR

(単位：百万円)

### 連結売上高推移

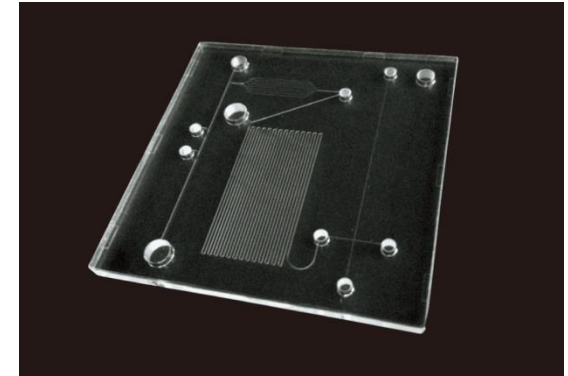


海外向けへの営業活動と生産設備の投資でさらなる受注拡大を目指す

## Ⅲ－2. マイクロ流体チップの展開

### 本格量産開始・・・2014年度から

- ・日本電気様のポータブルDNA解析装置向けの検証を進める
- ・他の案件の設計、検証も並行して実施



マイクロ流体チップサンプル

### 参入市場・・・DNA解析、医療、生物学など

#### 当社のマイクロ流体チップの特長

##### ①シリコーンゴム製の特長

- ・ゴム製で弾性であることから外部応力により変形させることが可能
- ・気体透過性が高いので、液体中の気泡を除去できる
- ・一般的な樹脂に比べて耐熱、耐光、耐候性に優れる

##### ②分子接着技術の特長

- ・プラスチックなどに転写された極微な溝、流路をつぶすことなく封止することができる
- ・被着体の融点以下の温度で接着させるため、形状変形しにくい

# お断り

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われぬようお願いいたします。

当資料についてのお問い合わせ先  
株式会社朝日ラバー 管理本部企画グループ  
TEL 048-650-6056